

2025年度 学校評価報告書

この学校評価報告書は、日本溶接構造専門学校の2025年度の学校評価結果を記したものである。

対象期間 自 2025年4月1日
至 2026年3月31日
評価日 2026年4月24日

一般財団法人 日本溶接技術センター
日本溶接構造専門学校

校長 及川 初彦

2025年度 学校自己評価

(1)教育理念・目標

評価項目	評価点	前年	前年比
理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4.1	4.1	0.0
学校における職業教育の特色は明確にされているか。	4.0	4.3	-0.3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.8	3.8	0.0
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3.5	4.0	-0.5
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けられているか	3.4	4.0	-0.6
取組状況と今後の方針: 溶接・非破壊検査分野で業界のニーズにマッチした人材の育成活動を検討中。理念・目的・育成人材像・将来構想の見直しを随時行っている。生徒の個性を尊重しつつ、具体的目標(資格取得等)を立てさせて、企業が求める人材へと育成する。職業教育の特色を明確にし、教育目標と具体的方法、理念・目的・育成人材像・将来構想を職員と学生・保護者で共有し、業界のニーズとマッチするよう目標に向かって進んでいく。			

(2)学校運営

評価項目	評価点	前年	前年比
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8	3.7	0.1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3.8	3.8	0.0
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.8	3.5	0.3
人事、給与に関する制度は整備されているか	3.8	3.3	0.5
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	3.7	3.7	0.0
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.7	3.9	-0.2
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.8	3.9	-0.1
情報システム化等による業務の効率が図られているか	3.4	3.6	-0.2
取組状況と今後の方針: 健全な事業計画と目的に沿った運営方針に関して見直しを実施中。意思決定のスピードアップを目指す。コンプライアンスに基づいた教育活動の情報公開によって外部評価を受け、PRも積極的に進めている。電子・IT化による業務の効率化にも積極的に取り組んでいる。また、モチベーション向上のため、能力主義とそれによる健全な財務体制維持によって給与制度も見直していく。業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制も整備している。			

(3)教育活動

評価項目	評価点	前年	前年比
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.7	3.9	-0.2
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8	4.0	-0.2
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	4.1	-0.4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4.1	3.8	0.3
関連分野の企業・関係施設、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	3.8	3.7	0.1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.8	3.5	0.3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4.1	3.9	0.2
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.2	3.4	-0.2
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4.1	3.9	0.2
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.1	4.1	0.0
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4.0	3.6	0.4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3.7	3.4	0.3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.5	3.4	0.1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.4	2.9	0.5
取組状況と今後の方針: 実践的な教育の観点から、関連分野の企業、施設、業界団体との連携が不十分な面があるため随時改善していく。カリキュラムの体系的な編成も毎年見直し、到達レベルを明確にする。職員の能力開発にも積極的に取り組み、外部関係者の評価も取り入れつつある。目標に即した教員の確保や職員の研修実施、先端的技術の取り入れも行い、社外と連携しながら社会ニーズにマッチした教育を実践する環境を整える。			

(4)教育成果

評価項目	評価点	前年	前年比
就職率の向上が図られているか	4.2	4.3	-0.1
資格取得率の向上が図られているか	4.0	4.0	0.0
退学率の低減が図られているか	3.8	3.9	-0.1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.7	3.6	0.1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4.0	3.7	0.3
取組状況と今後の方針: 入学後も面談等でコミュニケーションを図り、こまめに状況を把握しながら、退学にならないようフォローしている。また、計画的に資格を取るよう促した結果、生徒も積極的に取り組んでいる。さらに、就職活動は1年生から積極的にフォローし、高い就職率を維持している。今後は、OB会等を通して卒業生の情報を多く入手し、教育活動の改善に活かしていく。			

(5)学生支援

評価項目	評価点	前年	前年比
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8	4.2	-0.4
学生相談に関する体制は整備されているか	4.1	3.9	0.2
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.8	4.0	-0.2
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8	3.6	0.2
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.7	3.6	0.1
学生の生活環境への支援は行われているか	3.2	3.5	-0.3
保護者と適切に連携しているか	4.0	4.0	0.0
卒業生への支援体制はあるか	4.0	4.0	0.0
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.8	3.8	0.0
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.1	3.5	-0.4
取組状況と今後の方針: 基本的な生活習慣(挨拶・礼儀・マナー・態度・服装・言葉使い・遅刻防止)の指導を実施した。保護者とも連絡を取りながら、学生相談、就職支援、奨学金支援に関する体制を維持し、卒業生も含めてまめな対応を行っている。今後、必要に応じて、課外活動、生活環境への支援も行っていく。また、健康管理に関するシステムも確立していく。フォローは、社会的ニーズにマッチしたものとする。高校・高等専門学校との連携は、今後必要に応じて実施していく。			

(6)教育環境

評価項目	評価点	前年	前年比
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5	3.5	0.0
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5	3.5	0.0
防災に対する体制は整備されているか	3.2	3.8	-0.6
取組状況と今後の方針: 優先順位と予算を考慮しながら、順次施設・設備の整備を実施している。インターンシップに関しては、関係する企業にお願いし、一部了承を得ている。今後希望者で実施する予定。防災対策として避難訓練を定期的実施しているが、意識の面で足りない部分があるため、安全の講義で意識を高めるように促し、体制も必要に応じて見直していく。			

(7)学生の募集と受入れ

評価項目	評価点	前年	前年比
学生募集は、適正に行われているか	4.1	4.1	0.0
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.0	3.8	0.2
学納金は妥当なものとなっているか	4.0	4.3	-0.3
取組状況と今後の方針: よりわかり易い学校説明・見学会を積極的に実施し保護者の理解を得ている。学納金は妥当な金額であり、父兄にも認められている。学生の募集は適正に行われているが、安定した学生数確保のため、より積極的にアピールを行う。入学希望者には教育成果を伝えているが、情報にばらつきがないよう標準化していく。			

(8)財務

評価項目	評価点	前年	前年比
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.5	3.5	0.0
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0	3.7	0.3
財務について会計監査が適正に行われているか	4.2	4.0	0.2
財務情報公開の体制整備はできているか	3.8	3.8	0.0
取組状況と今後の方針: 学生数が減少傾向にあるため、財務基盤を安定化させるためより活発なPR活動を行う。予算・収支計画に沿った活動ができるよう学生数を確保し、財務基盤の安定を目指す。また、財務情報公開の体制を見直す。			

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価点	前年	前年比
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	4.0	0.0
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8	4.1	-0.3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.8	3.6	0.2
自己評価結果を公開しているか	4.0	3.7	0.3
取組状況と今後の方針: 法令を順守し、適正な運営に心がけている。ネット感染を防ぐため、注意事項に関する講義を生徒に受講させ、また、ネットが勝手に使えないよう制限している。個人情報保護に関しては細心の注意を払い、情報漏洩への対策を講じている。コミュニケーションを取り、いじめに関して常に気を配っている。自己評価を実施し公開しているが、課題の抽出と改善への方針立て、目標設定が十分でないため、改善活動に繋がるように明確化する。			

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点	前年	前年比
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4	3.4	0.0
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2	3.1	0.1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.4	3.3	0.1
取組状況と今後の方針: 社会・地域貢献、ボランティア活動、地域に対する公開講座・教育訓練に関しては、人手不足で未着手であるが、フェスタへの参加等、何らかの形で活動していきたい。			